

令和元年度 事業報告書

「生活衛生関係営業の運営の適正化及び振興に関する法律」に基づき、生活衛生関係営業の経営の健全化を通じてその衛生水準の維持向上を図り、併せて利用者又は消費者の利益の擁護を図ることを目的として、次の事業を実施した。

1. 会議開催等事業

理事会等開催 [定款第5章、7章]

年月日	開催場所	種別	議案事項等
R 1. 5. 20	センター事務所	監査	平成30年度会計監査
1. 6. 4	生田神社会館	理事会	平成30年度事業報告・決算報告、理事長・副理事長及び常務理事の自己職務状況報告、定例評議員会招集、理事の任期満了に伴う次期選任候補者の推薦
1. 6. 24	生田文化会館	評議員会	議長選出、平成30年度事業報告・決算報告、任期満了に伴う理事選任、平成31年度事業計画・収支予算報告
1. 6. 24	—	みなし理事会	任期満了に伴う役員改選による理事長・副理事長・常務理事の選定
2. 3. 30	—	みなし理事会	平成31年度会計における法人会計より公益法人会計への繰り入れ、令和2年度事業計画・予算、資金調達及び設備投資の見込み

2. 関係行政機関・関係団体等連絡調整事業

(1) 関係行政機関並びに関係団体等との連絡調整を図った。[定款第4条7号]

年月日	開催地	会議名	主催等
H31. 4. 23	東京都	都道府県センター事務局代表者会議	全国生活衛生営業指導センター
R 1. 5. 14	神戸市	日本政策金融公庫情報交換会	日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業
1. 6. 20	兵庫県	全国料理業兵庫大会	全国料理業生活衛生同業組合連合会
1. 10. 3 ～ 4	滋賀県	近畿ブロック経営指導員及び事務職員会議	滋賀県生活衛生営業指導センター
1. 10. 9	兵庫県	日麺連・全麺生連 近畿ブロック兵庫大会	兵庫県麺類食堂業生活衛生同業組合連合会
2. 2. 6 ～ 7	東京都	都道府県センター事務担当者会議	全国生活衛生営業指導センター
2. 2. 20 ～ 21	東京都	都道府県センター経営指導員会議	全国生活衛生営業指導センター
2. 2. 20	東京都	生衛組合活性化塾 2019 (東京会場)	全国生活衛生営業指導センター

(2) 生活衛生関係営業に係る情報の収集につとめ、資料の提供を行った。[定款第4条5号]

3. 相談指導事業

生衛業の衛生水準の維持向上、経営の安定を図ることにより、消費者の利益擁護を推進することを目的として(公財)兵庫県生活衛生営業指導センターの相談指導の実施体制を充実するとともに、(株)日本政策金融公庫と連携して貸付制度の効果的な活用を促進した。

(1) 中央相談指導事業

① 生活衛生営業相談室設置要綱に基づき相談室を設置し、融資、税務等の窓口相談並びに指導を行った。〔定款第4条1号〕【公1】

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容	21		7	6	13	54	29	130
クリーニング	2				1	46	22	71
美 容	98	2	51	42	58	102	81	434
旅 館	13		3	3	6	25	14	64
浴 場	7		2	2	4	43	28	86
興 行	1				1	10	5	17
鮭 商	9		3	2	4	56	28	102
社 交	8		5	5	6	33	21	78
麺 類	2		1	1	1	57	29	91
食 肉						28	12	40
喫 茶						23	12	35
料 理	5		2	2	2	15	12	38
飲 食	169	1	64	56	103	161	109	663
食鳥肉						16	8	24
中 華	8	1	3	2	5	32	17	68
氷 雪						1	1	2
合 計	343	4	141	121	204	702	428	1,943

*利用者・消費者の苦情等処理に対する指導を行った。〔定款第4条2号〕

指導件数 5件 (クリーニング1件、美容3件、鮭1件)

② 相談指導顧問設置事業〔定款第4条1号〕【公1】

相談指導顧問設置要綱に基づき相談指導業務の充実強化を図るため専門的知識を有する者を相談指導顧問として配置し、原則として月1回の無料法律相談を実施した。

相談件数 5件

(理容1件、クリーニング1件、公衆浴場業1件、飲食業2件)

(2) 地区相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

地区生活衛生営業相談指導事業実施要綱に基づき地域の実情に応じた相談指導を行うため、地区生活衛生営業相談室を開設した。

実施日 令和 元年 1 1 月 1 1 日

場 所 日本政策金融公庫豊岡支店会議室

対象業種	相 談 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容	1		1		1	1	1	5
旅館(簡宿)	2		2	2	2	2	2	12
合 計	3		3	2	3	3	3	17

(3) 巡回相談指導事業〔定款第4条1号〕【公1】

・営業所等を巡回し、経営指導員、経営特別相談員による相談指導を実施した。

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
理 容	1				1	1	1	4
クリーニング	8		2	2	8	8	8	36
美 容								0
旅 館	4				4	4	4	16
浴 場	4		1	1	4	4	4	18
興 行	8		3	3	8	8	8	38
鮭 商	6		3	2	6	6	6	29
社 交								0
麵 類	10		7	7	10	10	10	54
食 肉	4		3	2	4	4	4	21
喫 茶	16		8	8	16	16	16	80
料 理	4		1	1	4	4	4	18
飲 食	9		4	4	9	9	9	44
食鳥肉	4				4	4	4	16
中 華	10				10	10	10	40
氷 雪	4		2	2	4	4	4	20
合 計	92		34	32	92	92	92	434

・相談所を開設して、相談指導を実施した。

開設日 令和 元年 8 月 2 日

場 所 日本政策金融公庫明石支店における経営課題解決セミナー会場

対象業種	指 導 件 数 (件数)							合計
	融資	経理	税務	労務	衛生	経営	その他	
旅 館	1		1	1	1	1	1	6
飲 食	1		1	1	1	1	1	6
合 計	2		2	2	2	2	2	12

(4) 生活衛生関係営業経営改善資金融資等指導事業【公1・他1】

- ① 生活衛生関係営業経営改善資金融資制度に基づき生活衛生関係営業の経営の健全化を促進するため、相談指導を行うと共に関係機関との連携強化を図った。〔定款第4条1号、7号〕

融資申込・相談件数 33件

(理容4件、クリーニング1件、美容業1件、社交飲食業1件、飲食業25件、中華料理業1件)

- ② 生活衛生営業経営特別相談員の新任養成に必要な講習会を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 2. 1. 29	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	6人	「特別相談員の役割について」 兵庫県生活衛生営業指導センター 事務局長 友久健二 「生活衛生営業経営改善貸付の取扱について」 ㈱日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三課長 宮地達夫 「確定申告のきほんについて(～青色申告での申告や消費税のしくみ)」 佐藤会計事務所 税理士 下阪琢真 「衛生法規について」 兵庫県健康福祉部健康局生活衛生課環境衛生班 谷口美佳

- ③ 生活衛生同業組合職員との連絡会議を開催した。〔定款第4条5号、6号〕

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 7. 10	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	15人	・指導センター諸事業について

- ④ 生活衛生関係営業の経営改善にかかる連絡会議を開催した。〔定款第4条1号、4号〕

年月日	開催地	出席人員	業 種	内 容
R 1. 6. 3	神戸市 兵庫区	46人	理 容	「就職活動へア について」奈良県理容組合 大月靖彦
1. 6. 3	豊岡市	35人	理容・美容	「ダイエットと健康」 とも健康サロン 倉光智子 「器具の消毒と衛生理念」 朝来健康福祉事務所 森本和徳
1. 6. 24	篠山市	89人	理容・美容	「儲かる店舗の仕組みを作る方法」 活動法人ヒューリット経営研究所 山下逸治 「器具の消毒、届出事項」 丹波健康福祉事務所 食品薬務衛生課 横山文香 「自殺予防ゲートキーパー研修」 丹波健康福祉事務所 地域保健課 川崎由岐子
1. 6. 24	南あわじ市	32人	理 容	「理容所における衛生について」 洲本健康福祉事務所 吉沢なつみ 「融資制度について」 指導センター 中尾弘人
1. 8. 5	加古川市	32人	理容・美容	「ノロウイルス感染を防ぐ」 加古川健康福祉事務所 食品薬務衛生課 吉田博之 「襟足のシェーブ、眉カット、マッサージ実技指導」 前兵庫県理容組合エステ部会専任講師 西田尚美
1. 9. 9	小野市	98人	理容・美容	「消費増税前の準備対応について」 活動法人ヒューリット経営研究所 山下逸治 「理美容所における衛生対策」 加東健康福祉事務所 食品薬務衛生課 稲垣絵里子

年月日	開催地	出席人員	業種	内 容
R 1. 9. 9	淡路市	27人	理容	「キャッシュレス最終対応セミナー」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太 「理美容所における器具の消毒、届出事項にかかる衛生講習」 洲本健康福祉事務所 食品薬務衛生課 吉沢なつみ
1. 10. 28	明石市	35人	理容・美容	「感染症、消毒方法、アタマジラミ」 あかし保健所 中村 拳
1. 10. 28	神戸市 北区	30人	理容・美容	「改正消費税・キャッシュレス対応」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太 「理容・美容業関連衛生管理・消毒について」 神戸市北衛生監視事務所 中村綾彦 「働き方改革関連法について」 神戸西労働基準監督署 福島伸欣
1. 11. 11	神戸市 中央区	104人	理容・美容	「改正消費税・キャッシュレス対応」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太 「理容・美容業関連衛生管理・消毒について」 神戸市東部衛生監視事務所 宮本 亘
1. 11. 25	神戸市 長田区	143人	理容・美容	「改正消費税・キャッシュレス対応」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太 「理容・美容業関連衛生管理・消毒について」 神戸市西部衛生監視事務所 脇田達志

⑤「融資のご案内」を作成し、生活衛生貸付について利用者に周知した。〔定款第4条1号、5号〕

一般貸付 2,000枚

公庫融資 8,000枚

⑥ 相談支援連絡協議会事業等関係機関との連絡会議を開催した。〔定款第4条、5号、6号〕

年月日	出席人員	内 容	備 考
R 1. 9. 4	41人	日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三課長 宮地達夫	専門知識を有する者を講師とする研修会 (経営特別相談員研修会と併せて開催)
2. 1. 22	14人	生活衛生貸付の推進・情報交換	日本公庫・センター等

4. 情報化整備事業〔定款第4条1号、5号〕【公1・他1】

生衛業情報化整備事業実施要領に基づき、全国センターと都道府県指導センターをネットワーク化し、適切かつ効率的な経営相談、指導等業務に活用した。

生衛業情報ネットワークシステムの維持管理を行うとともに、ホームページを常に見直して情報を適宜更新して新たな情報を生衛業者、消費者に提供した。

更新回数 28回 指導センターホームページへのアクセス件数 6,160件

5. 後継者育成支援事業〔定款第4条1号、4号、6号〕【公1】

(1) 後継者育成打合せ会及び報告会議開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 6. 14	兵庫県中央労働 センター	6人	学習カリキュラム等実施内容についての検討
2. 2. 18	(神戸市中央区)	6人	実施結果を踏まえての検証

(2) インターンシップ事業の実施

◎理美容師インターンシップ事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 6. 1	神戸理容美容 専門学校 (神戸市兵庫区)	23人	フェイスマイクアップ技術の実演と様々なメイク技術を披露。参加者からのメイクに対する疑問にも質疑応答形式で実演を兼ねた具体的で分かりやすい説明が行われた。その後、いくつかのグループに分かれてメイク手法の実体験講習を受講。 講師：茨木裕宮子（同校特別講師・美容師）
1. 8. 20	神戸理容美容 専門学校 (神戸市兵庫区)	20人	同校卒業生で、第一線で活躍している小田氏とアシスタントを招き、ヘアカット、ヘアメイクの実演を「ヘアショー」として実施。決められた時間内に美容・理容技術を駆使して美しく仕上げる技術を披露。ヘアメイクショー終了後、質疑応答の他、参加者にウィッグを使ったヘアメイク、ヘアカットの実体験講習が行われた。学校を卒業後、活躍している人の実体験を聞くこと、ウィッグを使ったヘアメイク等を行うという体験は、理容師、美容師への興味を深めることができた。講師 小田拓矢（美容師）
1. 8. 26	姫路理容美容 専門学校 (姫路市)	23人	(株)Mars international に所属する谷口氏による「ヒメリビ・レディースシェービングセミナー」として開催。女性の顔表面の除毛、角質除去が求められる中、シェービングは理容師免許がなければできない業務で、女性を対象とした業務として女性理容師の活躍できる分野であることを説明。モデルを対象にシェービングのデモンストレーション実施、実施後の肌の様子等丁寧に解説、説明が行われ、参加者に強い興味を与えられた。デモンストレーション終了後のシェービングエステ、ネイル、カット、ワインディング、メイク等参加者が希望するそれぞれのコースでの実体験を行うことで、理容師、美容師への興味を深めることができた。 講師 谷口真美（同校特別講師・理容師）
1. 11. 12	県立神出学園 (神戸市西区)	12人	後藤教頭より、理容師、美容師の免許取得方法、業務内容、体験学習の概要の解説、説明が行われた。その後、カットをするときのハサミや櫛の取扱い方、カットの仕方の説明とデモンストレーションを受けた後、生徒2名に1台配置のウィッグを使ったカット体験学習が行われた。参加者は2年生が中心だが、美容師に強い興味を持つ1年生2名も参加、全員積極的に実技に取り組み充実した実体験学習が行われ、理容師、美容師への興味を深める事が出来た。 講師 後藤恵子（姫路理容美容専門学校 教頭）

◎魅力の蕎麦打ち技術の体験

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 11. 28	関西学院大学三田 (三田市)	11人 大学学生 ・留学生	調理技術、衛生教育、蕎麦についての講義を行い、続いて本格的な蕎麦打ちについての知識を習得、デモンストレーションを交えた蕎麦打ち技術及び衛生手技についての体験学習を実施。デモンストレーション終了後、4班に分かれて学生たちが協力して本格的な蕎麦打ち技術及び衛生手技等を実地に体験。打ち終わった後、自分たちが打った蕎麦を試食した。 講師 箱崎孝治、山本博文、黒川恭平、牧野 功、岡田純子

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 12. 4	播磨農業 高等学校 (加西市)	37人 生徒	調理実習室において体験学習を実施。座学での基本的な調理技術、衛生教育をはじめ蕎麦打ちについての知識習得、デモンストレーションを見ながら蕎麦打ち技術、衛生手技について学習。その後、8班(4～5名/班)に分かれて全ての生徒が何らかの作業に就けるよう配慮しながら蕎麦打ちを体験。自分たちの打った蕎麦を試食した。 講師 箱崎孝治、井上二郎、三宅 裕、岸本敬子

6. 健康・福祉対策推進事業 [定款第4条4号] 【公1】

(1) 健康・福祉対策推進事業(食品衛生等普及事業)

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 2. 2. 4	加古川食肉センター (加古川市) アサヒ飲料(株)明石工場 (明石市)	27人	神戸市役所前に集合。バスで加古川食肉センターに向かう車中において、牛の飼育、肥育、食肉処理、食肉検査から食卓までの流れを紹介するDVD「960日のいのち」を上映。参加者に事前知識と現場見学可否を考えてもらった。食肉センター到着後、兵庫県食肉衛生検査センター都倉所長、濱中副所長の案内、説明で加古川食肉センターの係留場からセンター内での牛のと殺、解体処理、食肉検査について、丁寧な説明をしていただいた。処理頭数が多い日を選んでの施設見学だったので、見学コースから全ての作業工程を見る事が出来ると共にHACCPに対応した食肉処理を学ぶ貴重な経験となった。 食肉検査についての質疑応答 兵庫県食肉衛生検査センター都倉所長 国の総合衛生管理製造過程承認施設であるアサヒ飲料(株)明石工場を見学。三ツ矢サイダー、WONDAコーヒー飲料等清涼飲料水の製造施設で、一般見学者コースからの見学であった。

(2) HACCP研修会の開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 5. 21	辻惣 (豊岡市)	8人	麺類食堂業におけるHACCPガイドランスについて 講師 高柳竜雄 (株)ティーズフードコンサルタント代表取締役)
2. 2. 12	中国採館 東天閣 (神戸市中央区)	15人	中華料理における衛生管理及びHACCPについて 講師 高柳竜雄 (株)ティーズフードコンサルタント代表取締役)
2. 3. 9	斗理 (神戸市中央区)	30人	
2. 2. 4	加古川食肉センター (加古川市)	27人	「食品衛生法の改正とHACCPに沿った衛生管理」 講師 高柳竜雄 (株)ティーズフードコンサルタント代表取締役)

7. 消費者コールセンター事業 [定款第4条1号、4号、5号] 【公1】

(1) 消費者コールセンター事業検討会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 2. 2. 12	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	21人	苦情状況の現状として、各行政機関、生活衛生営業指導センター、各生活衛生同業組合への苦情等(平成30年度636件、令和元年度[12月まで]390件、)消費生活センター等への苦情等(平成30年度760件、令和元年度[令和2年2月6日まで]578件)について情報交換を行った。商品の不具合に関する項目は、行政に入ってきている食品に関する苦情がほとんど。

年月日	開催場所	出席人員	内 容
			<p>従業者対応での技術・技能が悪いというところは、美容・理容・クリーニングといった技術関係での苦情になっている。追加事項として、生活科学総合センターから次の説明があった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電話「188」で24時間、365日体制で消費者から地元各市の消費生活センターに苦情相談が直接つながる体制が取られている。 ・自然災害が多かったことから、旅館・ホテルの宿泊関係のキャンセル、コンサート等のキャンセルに伴う苦情が多かった。その後、各生活衛生同業組合及び兵庫県、神戸市、姫路市、尼崎市、西宮市、明石市行政と指導センターで情報を密に共有し、相互に協力して消費者からの苦情対応を誠実に実施することを申し合わせた。 <p>なお、指導センターでは、毎月、無料法律相談としてみなと神戸法律事務所の向井弁護士に希望者の相談対応してもらっており、本年度は5件の相談実績があったが、せつかくの制度なので組合員に利用してもらうよう周知を依頼した。</p>

(2) 地域別消費者相談会

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R 1. 8. 7	ピピアめふ1 (宝塚市)	12人	「飲食店における衛生管理 ～消費者としてお店でどんな衛生管理をしているのか～」 (一社) 神戸食品微生物科学協会 会長 武政二郎
1.10. 2	ピピアめふ1 (宝塚市)	12人	「かしこい食品表示の見方」 (一社) 神戸食品微生物科学協会 会長 武政二郎
2. 1.24	尼崎市立消費生活 センター(尼崎市)	34人	「輸入食品 ～わたしたちの食卓へ上るまで～」 (一社) 神戸食品微生物科学協会 会長 武政二郎
2. 3. 4	ピピアめふ1 (宝塚市)	14人	「食品添加物に関すること」 (一社) 神戸食品微生物科学協会 会長 武政二郎

8. 兵庫県受託事業 [定款第4条1号、5号]

兵庫県知事から委託を受け、(株)日本政策金融公庫生活衛生融資の一般貸付に係る推せん事務を実施した。

推せん件数 159件

(飲食店営業89件、理容業8件、美容業53件、興行場1件、旅館業6件、公衆浴場業1件、サウナ営業1件)

9. 標準営業約款登録事業 [定款第4条3号] 【公2】

(1) 標準営業約款登録の促進

利用者の選択の利便性を高めるため、標準営業約款登録を促進した。

業 種	区 分	登 録 件 数			期末登録件数
		8月1日	2月1日	合 計	
クリーニング業	クリーニング(新)	1件	－件	1件	117件
	〃(再)	4件	－件	4件	
	取次所(新)	－件	－件	－件	7件
	〃(再)	－件	－件	－件	
理容業	(新)	－件	－件	－件	799件
	(再)	13件	18件	31件	

業 種	区 分	登 録 件 数			期末登録件数
		8月1日	2月1日	合 計	
美 容 業	(新)	1件	－件	1件	348件
	(再)	1件	23件	24件	
めん類飲食店営業	(新)	－件	－件	－件	2件
	(再)	－件	－件	－件	
一般飲食店営業	(新)	－件	－件	－件	13件
	(再)	4件	－件	4件	
審査委員会	開催日	R 1. 7. 23	2. 1. 15	－	－
	出席人員	5人	3人	－	－

(2) 約款PR事業

名 称 等	発行部数等	時 期	備 考
メモ帳	2,000冊	10～11月	(全国センターより助成あり)

10. クリーニング師研修等受託事業〔定款第4条1号、4号〕【公3】

兵庫県知事より指定を受けた(公財)全国生活衛生営業指導センターと委託契約を締結し、クリーニング師研修並びにクリーニング業務従事者講習事業を実施した。

(1) クリーニング師研修

年月日	開催場所	出席人員	備 考
R 1. 7. 4	加古川市民会館(加古川市)	28人	
1. 8. 8	西宮市民会館(西宮市)	28人	
1. 9. 1	西宮市民会館(西宮市)	38人	
1. 9. 22	兵庫県中央労働センター(神戸市中央区)	42人	
1. 11. 19	兵庫県中央労働センター(神戸市中央区)	13人	
合計	5回開催	149人	

(2) クリーニング業務従事者講習

年月日	開催場所	出席人員	備 考
R 1. 8. 1	姫路市市民会館(姫路市)	45人	
1. 9. 12	豊岡市民会館(豊岡市)	36人	
1. 9. 19	加古川市民会館(加古川市)	36人	
1. 10. 10	西宮市民会館(西宮市)	40人	
1. 11. 26	兵庫県中央労働センター(神戸市中央区)	39人	
合計	5回開催	196人	

(3) 打合せ会開催

年月日	開催場所	出席人員	内 容
H31. 4. 26	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	16人	<ul style="list-style-type: none"> ・受講状況および31年度開催計画の概要 ・30年度までの受講状況 ・受講指導の徹底について

11. 生活衛生営業振興事業〔定款第4条1号、2号、4号、5号、6号、7号〕【公4】【他3】

公益財団法人として不特定多数の者の利益の増進に寄与することを目的として定めた「生活衛生営業衛生水準向上・活性化事業実施要綱」に基づき、公衆衛生の向上を目的とした事業、地域社会の健全な発展を目的とした事業、一般消費者の利益の擁護又は増進を目的とした公益事業等を組合と共同又は単独事業として実施した。

(1) 共同事業

年月日	開催場所	出席人員	内 容
H31. 4. ～R2. 2.			【全料飲】 目的 兵庫県で組織する8の飲食業関係組合が衛生確保向上に向けた取り組みを積極的に実施することにより、一般消費者の安心できる食生活を確保するとともに、広く公衆衛生の確保の重要性について啓発を行い、地域社会の活性化を促す取り組みを行なった。
(1. 12. 4)	ホテルクレール日笠 (姫路市)	14人	[旅館ホテル生活衛生同業組合] 「旅館業における働き方改革とワークシェアリング講習会」 講師 社会保険労務士 白井信雄
(2. 1. 9)	ほてる ISAGO 神戸 (神戸市中央区)	18人	
(2. 2. 25)	兵庫県立神出学園 (神戸市西区)	70人	[鮭商生活衛生同業組合] 内容 ①握り寿司の意義を含めての実演指導 ②板前鮭職人による握り寿司の実演、試食 講師 貝塚一夫、大本佳克、河合正司、石原清和 山口昭二、新谷建士、奥谷康弘、岡本博幸 岡本剛志、森岡章嗣 補助 寺下千果
(1. 11. 3)	赤穂城跡公園 (赤穂市)	来場者数 6,000人	[社交飲食生活衛生同業組合] 内容 第16回「赤穂でえしょん祭」に参加し、お酒の中身・種類・製法の紹介と簡素な食材を使っての「酒の料理」「おつまみ」を実演し、来場者の一般市民に振舞った。
(1. 6～2. 2)	兵庫県内		[麺類食堂業生活衛生同業組合] 内容 公衆衛生や食の安全・安心に関わる情報をはじめ、社会情勢、市場、商品、メニュー店舗等の情報について、組合員と共有するため、機関誌を発行した。 めんるいニュース 第154号 250部発行 インバウンド需要の対応策として英語・中国語・韓国語・日本語の四か国語対応のリーフレットを組合員に配布し、「安全・安心・信頼」できる組合員のお店を紹介することで、消費者に対して啓蒙活動を行った。 麺類組合リーフレット 10,000部 作成
(1. 9・2. 1)	兵庫県内		[喫茶飲食生活衛生同業組合] 内容 ①組合機関紙の発行と講演会 「喫茶ひょうご」の発行 2019年9月号・2020年1月号 各200部 ②講演会 「消費税引き上げ及び軽減税率導入対応について」 講師 税理士 丸之内陽一
(1. 8. 18)	神戸飯店 (神戸市長田区)	32人	
(1. 11. 5)	カフェエース (神戸市長田区)	27人	

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(1. 12. 11)	神戸たん熊 (神戸市中央区)	19人	[料理業生活衛生同業組合] 内容 組合員のベテラン料理長を講師に旬の和食材・器の紹介と講演、料理長による技術披露講演会を開催した。 講師 柴原由行 助手 大脇克彦・遠藤佑介
(1. 10. 6)	伊和和田山店特設会場 (朝来市)	100人	[飲食業生活衛生同業組合] ①和田山地区料飲組合 内容 地元食材を使用した新しいメニューの開発と、実際に一般市民の方に調理方法を指導して、試食を行った。朝来産米粉入りのコッペパン、但馬牛バラ肉、岩津ネギを使用した。 講師 川見秀司 補助 藤原政司・馬場秀樹
(1. 11. 9・10)	西脇総合市民センター (西脇市)	試食配布数 両日各 150人分	②西脇多可料飲組合 内容 地元食材を使って「西脇市のソウルフードを作ろう」をテーマに「にしわきレシピコンテスト」が開催され、一般市民を対象に募集し最優秀賞・優秀賞の作品を組合員店舗において試食品を調理し、会場で配布した。また、両日、受賞式が開催され、受賞されたお二人からレシピ開発についてのエピソード等を発表していただいた。
(1. 11. 25)	鳴尾東育成センター (西宮市)	参加者 小学生61人 スタッフ8人	③甲子園料理飲食総合組合 内容 小学生61人を対象に「食中毒への注意点」「手洗いの励行」「手巻きずしの作り方」などを、専門家から説明を受け、実際に調理し、食事した。 講師 柳谷 巖・福岡千恵子・上村千穂子他 補助員5人
(2. 3. 9)	斗理 (神戸市中央区)	31人	[中華料理業生活衛生同業組合] 内容 ●本場中華料理の調理技術を、後継者育成のため若手の調理人に見学していただき、古典的な料理の講義を聴き、質疑応答。 講師 黄 棟和・助手 山口 強 ●HACCPについての講義 講師 高柳竜雄 (㈱ティーズフードコンサルタント代表取締役)
H1. 5～10			【理容】 公衆衛生の向上、地域社会の健全な発展、一般消費者の利益の擁護又は増進を図るため、兵庫県理容生活衛生同業組合44支部の各地域で理容業を営む営業者並びに若手技術者を対象として各部門研修会を開催し、衛生消毒の普及啓発を行うとともに技術の向上のための研修会を実施した。 内容 理容師法に基づく理容業は、人の身体の一部である毛髪及び皮膚に接して施術を行うサービス業であり、利用者だけでなく、従事者の安全のためにも、正しい衛生消毒知識と万全な消毒体制での営業が求められていることから、理容組合では、若手技術者を中心に各部門別研修会を開催して、支部から受講者を募集し、技術の向上を図るとともに、理容業の衛生水準の維持向上を学んでいただき、衛生消毒の徹底指導を実施した。
(1. 5. 27)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	19人	講師 周 成榮、小林義和、田中泰平、西関 誠 上垣裕一
(1. 7. 1)	姫路理容美容専門学校 (姫路市)	17人	講師 周 成榮、小林義和、下地宏和、田中泰平 上垣裕一、西関 誠

年月日	開催場所	出席人員	内 容
(1. 9. 9)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	12人	講師 周 成榮、小林義和、下地宏和、田中泰平
(1.10. 7)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	12人	講師 周 成榮、西関 誠、松原智哉、上垣裕一
H31.4 ～R2.3			【クリーニング】 クリーニング業者及び一般消費者を対象にして、クリーニング事故を未然に防ぐには何が必要か、衣類の洗濯表示基準が改正されたことについての知識等、消費者が安心して利用できるよう、情報を提供した。 内容○「キャッシュレス決済について」 講師 全国クリーニング生活衛生同業組合連合会 事務局長 半田裕施 「苦情・クレーム対応について」 講師 Happy-MC 代表 高山かずえ ○「消費税のインボイス制度及び働き方改革について」 講師 SWALLOW JAPAN代表 荻田員成 「長期放置品対策について」 講師 PROCS-LAB 代表 西山 誠
(1.10. 6)	センタープラザ西館 (神戸市中央区)	25人	
(2. 3.29)	センタープラザ東館 (神戸市中央区)	5人	
H31.4 ～R2.2			【美容業】 美容業の営業衛生水準の向上・活性化事業を不特定多数の者の利益の増進を目的として、高度な技術や知識・情報を有する専門講師を招聘して、県下の美容業者を対象にした講習会を実施し、衛生水準や美容技術の向上と普及を図ることによって、一般消費者の利益の擁護と地域社会の健全な発展に寄与した。 内容 組合員・組合未加入者をセミナーの対象とし、美容所の衛生水準の維持向上を図るため、保健所職員等の講師による衛生講習会と併せて経営セミナーを開催した。 「美容所におけるクレーム対応について」 講師 高山かずえ 「ヘア講習会」 講師 中馬由美子
(1. 7. 8)	じばさんびる (姫路市)	41人	
(1. 7.22)	宝塚商工会議所 (宝塚市)	46人	
(1. 8.19)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	7人	
(1. 9. 2)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	9人	
(1.10. 7)	神戸理容美容専門学校 (神戸市兵庫区)	10人	
R1.6～2.3			【旅館ホテル】 旅館文化の一翼を担う「おもてなし」を兵庫の旅館に浸透する事の一環として一般消費者に分かりやすい旅館ホームページを運営することにより、各施設のブランディングの一助となることを目的とした事業を実施した。 「旅館のブランディングのための分かりやすいホームページ活用講座」 講師 (株)キャディッシュ社長 千垣内順 「旅館ブランディングに向けた自社の活用事例座談会」 メンバー全員で自施設の事例を紹介しあう座談会形式の意見交換会
(2. 3.19 ・20)	ほてる ISAGO 神戸 (神戸市中央区)	19人	

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R1. 5～2. 3 (1. 10. 15)	兵庫県民会館 (神戸市中央区)	40人	<p>【公衆浴場業】</p> <p>恒例の兵浴セミナーを開催し、生衛事業者・消費者・行政等の相互交流と理解、信頼をより深めるとともに公衆衛生、事業存続、貢献等を考え合っていく機会とした。今回は、「震災により急激にジェントリフィケーション(地域に新たな住民が多数流入すること)が進んだ神戸市の公衆浴場から見えてくる、若者や子供が活用する新たな『銭湯像』について議論」することを通して、公衆浴場として地域社会に新しい需要と活用方法を探り、銭湯の未来を考え合った。</p> <p>内容 講演「五毛温泉から見る銭湯論」 講師 竹中信乃(東京大学大学院在籍中)講師自身が、祖父が経営していた銭湯(灘区の五毛(こもう)温泉)で手伝いをしていた経験者でもあり、会場からは銭湯の歴史や施設、今後目指すべき内容も含めて具体的にわかりやすい等の好評を得た。</p>
H31. 4 ～R2. 3 (2. 2. 25)	兵庫県立神出学園 (神戸市西区)	70人	<p>【鮭商】</p> <p>代表的な日本食である「鮭」を食べる機会の少ない自立支援学校に出向き、握り寿司の実演、鮭の歴史、衛生的な取り扱い等を講義して食育を行った。さらに社会に巣立つ若者に食に対する興味・関心を深めるとともに、調理師への道を拓く一助とし、鮭業の魅力等を伝えた。また、板前鮭職人による実演においては、魚介類のにぎりを提供するにあたり、食材が地産地消によるものであり、地域社会と深くかかわり発展につながっている事も示し、さらに、板前鮭職人とのふれあいを通じ、各地域に根ざす寿司店が親しく身近なものとなるように働きかけると共に公衆衛生の向上に努めた</p> <p>内容 ①握り寿司の意義を含めての実演指導 ②板前鮭職人による握り寿司の実演、試食 講師 貝塚一夫、大本佳克、河合正司、石原清和、山口昭二、新谷建士、奥谷康弘、岡本博幸、岡本剛志、森岡章嗣 補助 寺下千果</p>
H1. 11～12 (1. 12. 14)	播州赤穂駅前通り (赤穂市)	200人	<p>【社交飲食業】</p> <p>公衆衛生の向上を図るため、簡素な食材を使って、専門家による実践実技を交えて社交業界の衛生水準の向上と地域社会の健全な発展に寄与した。</p> <p>内容 赤穂市の最大イベントである「赤穂義士祭」に今年も参加し、専門家である調理人及びバーテンダの酒の作り方等の提供並びに指導、簡単に出来るおつまみ、男の料理を振舞った。</p>
H31. 4 ～R2. 2 (2. 2. 28)	兵庫県立淡路文化 会館料理室 (淡路市)	参加予定者 35人 組合側 7人	<p>【麺類食堂業】</p> <p>内容 「そばは元気な健康食」と言われるとおり、一般消費者対象に【手打ちそば講習会】を開催し、より美味しい「そば」を作りそれを試食、そばと健康、安全についての講義を行う予定をしていたところ、新型コロナウイルス拡大防止のため、直前に中止せざるを得ない状況となった。このことにより、前日に講師たちがそばを打ち、クール便で届け、受講予定者に配布し、食した方々からこんな美味しい「そば」は初めてと評判は上々であり、改めて、衛生水準の維持向上に努めなければならない責務を痛感し、業界の発展にも繋がる意義のある事業となった。</p> <p>講師 箱崎孝治、井上二郎、片野光嗣、山本博文</p>

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R1. 7～12 (1. 12. 12)	赤穂市民会館 (赤穂市)	30人	<p>【食肉】 一般消費者を対象に、食肉の衛生と安全に関する講習会を実施して、食肉衛生知識の普及促進を図り、公衆衛生の向上に寄与した。また、家畜の生産から食肉の処理加工、消費に至る生産・流通等の講習、DVDでそのプロセスを紹介し、食育の推進並びに地産地消の重要性を啓発して、地域社会の健全な発展に寄与することを目的として実施した。</p> <p>内容 *お肉の調理実習・テーブルマナー・試食 講師 平田 恭子(学校法人栄学園 平田調理師専門学校校長)他 助手5人 *お肉が食卓にとどくまで～もっとおいしく食べるために～「DVD」を鑑賞 全国食肉事業協同組合連合会が制作したDVD「お肉が食卓にとどくまで」を鑑賞することにより、牛の生産(誕生)から流通・消費に至る過程を学習すると共に食肉衛生検査体制及び食肉の衛生的な取り扱い等について学習した。 講師 兵庫県健康福祉部健康局生活衛生課 副課長 福永真治 *行政・食肉業界・調理担当教授・消費者との意見交換 食肉の衛生水準や公衆衛生の知識を深めて、食肉の安全安心のための普及啓発を図った。 アンケート集約・・・概ね良好な結果であった。</p>
H31. 4 ～R2. 2 (1. 9・2. 1) (1. 8. 18) (1. 11. 5)	兵庫県内 神戸飯店 (神戸市長田区) カフェエース (神戸市長田区)	32人 27人	<p>【喫茶飲食】 内容 ①組合機関紙の発行と講演会 「喫茶ひょうご」の発行 2019年9月号・2020年1月号 各200部 ②講演会 「消費税引き上げ及び軽減税率導入対応について」 講師 税理士 丸之内陽一</p>
R2. 2～3 (2. 2. 21)	神戸たん熊 (神戸市中央区)	23人	<p>【料理業】 消費者を対象に日本料理に対する認識、興味を高めるため郷土の食材等を使用した創作料理と器との相性研究をし、地産地消による地域社会の健全な発展並びに消費者の利益増進に寄与した。</p> <p>内容 ベテラン料理長を講師に招き、郷土の食材等を使用した創作料理「これからの寿司会席とおもてなし」をテーマに食材、器の紹介、調理、盛り付けを披露。参加者で創作料理の試食、相性等について歓談し、交流を深めた。 講師 今村彰利 (助手)川飛有司、遠藤佑介、新海征明</p>
H31. 4～6 (1. 5. 21)	神戸メリケンパーク オリエンタルホテル (神戸市中央区)	86人	<p>【飲食業】 内容 「料理人の育成」店が人を育てる 講師 尾崎 滋(大阪調理師会会長) ご自身の修業時代を振り返りながら、料理人としての心構えや、従業員同士のコミュニケーションを大切にすることで、お客様に対する接遇力が向上されるという内容の講演であった。 チラシ 200枚作成</p>

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R1. 11～2. 3			【中華料理業】 一般消費者を対象にして中華料理の専門家が家庭で出来る中華料理を指導して、実演・試食会を行って消費者に新たな中華料理を紹介する他、講習会を併せ実施し、中華料理の薬膳、医食同源などの中華料理の文化、歴史、衛生確保などの食育を推進して消費者利益の擁護と公衆衛生の向上に寄与した。ダイレクトメール等で案内、神戸新聞で案内記事掲載
(2. 2. 28)	斗理 (神戸市中央区)	2 1 人	内容 中華料理の実演・試食 講師 黄 棟和・助手 山口 強
(2. 3. 5)	群愛飯店本店 (神戸市中央区)	2 4 人	講師 施 蓮華・助手 施 文雄

(2) 単独事業

生衛業情報を適切に提供するためのホームページを加筆修正した。

(3) 企画運営委員会の開催

生活衛生営業振興事業を適正かつ円滑に推進するために、「企画運営委員会」を設置し、事業計画の企画運営にかかる審査及び助言することにより、生活衛生営業の振興を図った。

年月日	開催場所	出席人員	会 議 内 容
R1. 5. 9	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	1 3 人	平成30年度生活衛生営業振興事業の報告
2. 2. 18	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	1 1 人	平成31年度生活衛生営業振興事業の計画変更 令和2年度生活衛生営業振興事業の計画

12. 全国生活衛生営業指導センター受託事業 [定款第4条1号、5号]

(公財)全国生活衛生営業指導センターの委託を受けて次の事業を実施した。

(1) 景気動向等調査【他4】

生衛業界の景気動向、設備投資動向等を定期的に把握するとともに、生衛業者の景況感や地域実情等を定性的な把握に努め、日本公庫の今後の業務運営に資した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麵	肉	喫	料	飲	鳥	中	氷	計
1回	5	4	6	2	6	1	6	4	7	3	5	2	7	2	3	1	64
2回	5	6	6	2	6	1	6	4	7	3	5	3	7	2	4	1	68
3回	5	6	6	2	6	1	6	4	7	3	5	3	8	2	3	1	68
4回	5	6	6	2	6	1	6	4	7	3	5	2	8	2	3	1	67
合計	20	22	24	8	24	4	24	16	28	12	20	10	30	8	13	4	267

(2) 経営状況調査【他4】

生衛業の経営状況を把握するため訪問調査等を実施した。調査結果は(公財)全国生活衛生営業指導センターにおいて今後の経営指導方針に活用され、また情報を公開した。

	理	ク	美	旅	浴	興	鮭	社	麵	肉	喫	料	飲	鳥	中	計
1回	6	5	5	3	4	2	7	2	7	4	3		7	2	4	61
2回	5	6	5	2	4	1	7	3	7	4	4	1	7	2	4	62
3回	5	6	5	2	4	1	7	3	7	4	4	1	7	2	3	61
4回	5	6	5	3	4	1	7	3	7	4	4	1	7	2	3	62
合計	21	23	20	10	16	5	28	11	28	16	15	3	28	8	14	246

(3) 生衛組合活動実態調査【他4】

生衛組合の組織体制、広報活動、組織強化活動、各種事業の実施状況、行政や地域社会との関係等を総合的に把握し、衛生水準の確保向上事業をはじめ、生衛組合の活性化・組織強化に関する事業展開方向や都道府県組合に対する指導・支援対策等の検討に必要な基礎資料を整備することを目的として、都道府県生衛組合を対象に「生衛組合活動実態調査」を実施した。

(4) 生衛業の生産性向上を図るためのガイドライン・マニュアル作成事業〔定款第4条6号〕【法】

① 営業者モデル事業の取り組み

- ・モデル事業実施事業者と共にガイドライン・マニュアルを活用し、生産性向上に資するモデル事業に取り組みを実施した。
- ・経営指導員が助言者としてモデル事業の策定・遂行を指導・支援した。

② 「生活衛生関係営業の生産性向上のポイント」冊子の作成配布（1,500部）

「生活衛生関係営業の生産性向上のポイント」冊子を印刷し、各生衛組合へ配布した。

13. 分野調整等協議会等事業〔定款第4条1号〕【他2】

分野調整事業協議会設置要領に基づき零細企業である生活衛生関係営業の健全な発展を図り、進出大企業との紛争等を的確に把握し、当事者間の自主的調整の促進等を円滑に実施するため協議会を設置し、分野調整全般にわたって調査検討を要する場合に協議会を開催する。

なお、現在検討課題がないため中止し、問題が発生した場合に再開することとしている。

14. 全国生活衛生営業指導センター事業協力（全国センター経費負担）

(1) 経営特別相談員指導事業〔定款第4条1号、4号〕【公1】

経営特別相談員の経営指導上に必要な知識の充実と資質の向上を図るため次の研修会を開催した。

年月日	開催場所	出席人員	内容
R1. 9. 4	生田神社会館 (神戸市中央区)	41人	「生衛組合における衛経の取り組みの現状について」 指導センター経営指導員 中尾弘人 「組合員ならではの有利な貸付制度について」 日本政策金融公庫神戸支店国民生活事業 融資第三課長 宮地達夫 「収益力向上となる顧客満足を上げるための苦情・クレーム 対応～クレマーをロイヤルカスタマーに変える」 Happy-MC 代表 高山かずえ 「最低貸金制度・貸金引上げに向けた支援策について」 兵庫県働き方改革推進支援センター 特定社会保険労務士 山本陽子 「生産性向上ガイドライン・マニュアルの活用方法について」 指導センター経営指導員 平野 彰

(2) 衛生水準の確保・向上事業〔定款第4条1号、5号〕【他3】

① 衛生水準の確保・向上事業に関する説明会へ出席（1.7.3～4）

衛生水準の確保・向上事業の的確な実施に資するため、説明会に出席した。

② 衛生水準の確保・向上推進会議

年月日	開催場所	出席人員	内 容
R1. 8. 9	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	30人	第1回会議 ・推進会議開催の趣旨について ・令和元年度行動計画について
2. 2. 26	兵庫県中央労働センター (神戸市中央区)	22人	第2回会議 ・令和元年度事業報告 ・生活衛生関係営業新規開業施設状況 ・生活衛生同業組合に関するアンケート結果 ・衛生水準の確保・向上事業関係資料

③ 広報・啓発事業 R1. 8～2. 2

組合員及び組合未加入者に対し、生衛法の意義、組合加入勧奨等についてチラシ、ホームページ等による広報活動を行った。また、行政機関からの情報に基づき、名簿を作成してダイレクトメールを実施した。(4, 352件)

④ 新規営業許可届出施設等の情報の入手 R1. 5～10

行政機関から、30年度の新規営業許可者の名簿を入手し、業種別にエクセルファイルで整理し、組合加入勧奨の基礎資料として、県下各生衛組合に情報提供した。(4, 487件)

⑤ 県生衛協議会と連携し県知事等に面談し、生衛組合、県指導センター、連絡協議会への支援要請を行った。 R1. 6～2. 1

⑥ 食品衛生法が改正されHACCPに沿った衛生管理が制度化されたことから衛生管理講習会を開催した。 R2. 2. 4

⑦ 生衛組合の地域セミナーに講師を派遣し、HACCPに基づく自主衛生管理の重要性の講演を行った。 R1. 5～2. 3 3回

⑧ 全国指導センターが、生衛組合の活性化及び組織強化等の基礎資料を得るために実施した調査に協力した。 R1. 9～2. 1

(3) 生衛業消費税対策・ICT活用促進研修会の開催〔定款第4条4号〕【法】

年月日	開催地	出席人員	業 種	内 容
R1. 6. 24	篠山市	89人	理容・美容	「儲かる店舗の仕組みを作る方法」 活動法人ヒューリット経営研究所 山下逸治
1. 9. 9	小野市	98人	理容・美容	「消費税増税前の準備対応について」 活動法人ヒューリット経営研究所 山下逸治
1. 9. 9	淡路市	27人	理 容	「キャッシュレス最終対応セミナー」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太
1. 10. 28	神戸市 北区	30人	理容・美容	「改正消費税・キャッシュレス対応」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太
1. 11. 11	神戸市 中央区	104人	理容・美容	「改正消費税・キャッシュレス対応」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太
1. 11. 25	神戸市 長田区	143人	理容・美容	「改正消費税・キャッシュレス対応」 活動法人ヒューリット経営研究所 川野 太

(4) 生衛業の生産性向上ガイドライン・マニュアル更新事業〔定款第4条6号〕【法】

- 生産性向上ガイドライン・マニュアル更新事業に係る中央研修会への参加

ガイドライン・マニュアルの解説、個別相談の方法、都道府県センターが実施する取組内容等についての「中央研修会」に参加した。

開催日 令和元年7月2日～3日

場 所 AP新橋(東京都港区)

- 生産性向上向上モデル事業成果発表会への参加

生産性向上に関する優良事例についての「成果発表会」に参加した。

開催日 令和2年2月20日

場 所 AP新橋(東京都港区)